

2026年度 学科別授業科目一覧表 (実務経験表記あり)

課程：工業専門課程

学科：高度情報システム科

NO.	授業科目	学年	授業時間数	単位	必須・選択	講義・実習	実務経験
32	C言語演習Ⅲ	2	60	4	必修	実習	有
33	Java演習Ⅰ	2	60	4	必修	実習	有
34	Java文法Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
35	Python	2	60	4	必修	実習	有
36	Webプログラミング	2	60	4	必修	実習	無
37	JavaScriptⅡ	2	30	2	必修	実習	有
38	データベース演習(SQL)Ⅱ	2	30	2	必修	実習	有
39	CCNAⅡ	2	30	2	必修	講義	有
40	CCNAⅢ	2	30	2	必修	演習	有
41	CCNAⅣ	2	30	2	必修	講義	有
42	CCNAⅤ	2	60	4	必修	実習	有
43	LinuxⅠ	2	60	4	必修	実習	有
44	LinuxⅡ	2	60	4	必修	実習	有
45	セキュリティ解析	2	30	2	必修	実習	無
46	セキュリティⅢ	2	60	4	必修	実習	無
47	基本情報科目A対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
48	基本情報科目B対策Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
49	応用情報対策	2	30	2	必修	講義	有
50	基礎数学Ⅲ	2	30	2	必修	講義	無
51	AI数学Ⅰ	2	30	2	必修	講義	無
52	基礎英語Ⅱ	2	30	2	必修	講義	有
53	企業会計Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
54	情報関連法規Ⅰ	2	30	2	必修	講義	有
55	プレゼンテーション	2	30	2	必修	実習	有
56	体育実習Ⅱ	2	30	2	必修	実習	無

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	C言語演習III		坂東 佑一	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
前半：C言語でネットワークプログラミングができるようになる。 後半：C++を通してオブジェクト指向プログラミングの基礎を習得する。							
【講義概要】							
前半：TCP/IPソケットプログラミングの基礎演習を行った後、各自でWebサーバを実装し、その性能を競う。 後半：C++の基礎文法を学んだ後、カプセル化、継承、ポリモーフィズム等を中心とした演習を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	C:復習 (ファイル操作、コマンドライン引数、マルチスレッド等)						
2	C:ソケットプログラミング						
3	C:ソケットプログラミング						
4	C:ソケットプログラミング						
5	C:Webサーバの実装						
6	C:Webサーバの実装と性能コンテスト						
7	C++:基礎文法						
8	C++:クラス						
9	C++:コンストラクタとデストラクタ						
10	C++:カプセル化、static						
11	C++:継承						
12	C++:ポリモーフィズム						
13	C++:標準ライブラリ						
14	総合演習						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・授業中の挙手等、積極的な授業参加には別途大きく加点する 						
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上							
【教科書・参考文献】							
<ul style="list-style-type: none"> ・C言語 ゼロからはじめるプログラミング(翔泳社) (1年次に購入済み) ・C++ ゼロからはじめるプログラミング(翔泳社) (新規購入) 							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Java演習I		坂東 佑一	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Javaを通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念を理解する。 プログラミング中級者レベルの実装力を身に着ける。							
【講義概要】							
Javaの基礎文法の説明は手短にし、カプセル化、継承、ポリモーフィズムの演習に多くの時間を割り当てる。高度情報システム科向けの授業であることから相応の質と量の課題を課すため、自主学習も必要不可欠である。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Java基礎文法（データ型、分岐、繰り返し、配列、メソッド）						
2	Java基礎文法（データ型、分岐、繰り返し、配列、メソッド）						
3	クラス						
4	簡易RPGゲーム作成						
5	簡易RPGゲーム作成						
6	簡易RPGゲーム作成						
7	総合演習						
8	カプセル化						
9	カプセル化						
10	継承						
11	抽象クラス						
12	インターフェイス						
13	デザインパターン						
14	GUI						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・授業中の挙手等、積極的な授業参加には別途大きく加点する 						
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上							
【教科書・参考文献】							
Java 第3版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング (翔泳社)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Java文法I		坂東 佑一	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Javaを通じ、オブジェクト指向プログラミングの概念を理解する。 プログラミング中級者レベルの実装力を身に着ける。							
【講義概要】							
Javaの基礎文法の説明は手短にし、カプセル化、継承、ポリモーフィズムの演習に多くの時間を割り当てる。高度情報システム科向けの授業であることから相応の質と量の課題を課すため、自主学習も必要不可欠である。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Java基礎文法（データ型、分岐、繰り返し、配列、メソッド）						
2	Java基礎文法（データ型、分岐、繰り返し、配列、メソッド）						
3	クラス						
4	簡易RPGゲーム作成						
5	簡易RPGゲーム作成						
6	簡易RPGゲーム作成						
7	中間試験☒						
8	カプセル化						
9	カプセル化						
10	継承						
11	抽象クラス						
12	インターフェイス						
13	デザインパターン						
14	GUI						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> ・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・授業中の挙手等、積極的な授業参加には別途大きく加点する 						
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上							
【教科書・参考文献】							
Java 第3版 入門編 ゼロからはじめるプログラミング (翔泳社)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門	必修	Python		坂東 佑一	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
<ul style="list-style-type: none"> Pythonの基礎文法を習得し、ちょっとしたスクリプトならささっと書ける人になる スクレイピング、ブラウザ自動化、AIシステムなど応用的なプログラムを開発できる人になる 							
【講義概要】							
まず基礎文法を習得し、ログ解析などの典型的な課題に取り組む。後半は、スクレイピング、ブラウザ自動化、画像処理、GUIといった応用的な課題に取り組む。また、Google Colabを利用して、データサイエンスとAIに関する内容も取り扱う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	基礎文法：変数、リスト、タプル、辞書、セット、分岐、繰り返し、関数など						
2	基礎文法：変数、リスト、タプル、辞書、セット、分岐、繰り返し、関数など						
3	基礎文法：変数、リスト、タプル、辞書、セット、分岐、繰り返し、関数など						
4	基礎文法：ファイル、正規表現、例外処理など						
5	基礎文法：オブジェクト指向						
6	Webスクレイピング						
7	ブラウザ自動化						
8	画像処理						
9	グラフ描画、GUI						
10	Google Colab：データサイエンス、AI						
11	Google Colab：データサイエンス、AI						
12	Google Colab：データサイエンス、AI						
13	Google Colab：データサイエンス、AI						
14	総合演習						
15	総合演習						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	100%					100%	
(補足)	<ul style="list-style-type: none"> 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること 授業中の挙手等、積極的な授業参加には別途大きく加点する 						
【教員紹介】							
慶應義塾大学理工学部情報工学科(学士)、東京大学大学院学際情報学府(修士) NTT研究所(2013-2015)、慶應義塾ITC(2015-2020)での勤務を経て2020年2月～現職、保有資格70種以上							
【教科書・参考文献】							
Python ゼロからはじめるプログラミング (翔泳社)							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	Webプログラミング		砂賀 勝己	無	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
CGIとDBを用いたウェブサイトの構築手法について学習する																					
【講義概要】																					
言語としてphp、DBサーバとしてMySQLを使う。演習をメインとして理解力を深める																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	php概要、phpの基本文法・他言語との違い(変数、制御文など)、CGIとは																				
2	postによるデータの取得とページの生成、文字列を扱う関数																				
3	ファイル、ラジオボタン(Form要素)																				
4	連想配列、foreach、die、チェックボックス(Form)																				
5	正規表現－概要、記述法、関連関数－、配列操作1－追加/削除のメソッドなど－																				
6	配列操作2－ソート、コピー、ファイルへのデータの追加、正規表現応用																				
7	総合演習1																				
8	関数(ユーザ定義)、日付関数																				
9	ヒアドキュメント、table関係の要素、phpによる作表																				
10	cookie操作																				
11	phpとMySQLの連携1－MySQL概要、接続/アクセスのための基本メソッド－																				
12	セッション管理、phpとMySQLの連携2－各種SQL文1－																				
13	phpとMySQLの連携3－各種SQL文2－、include																				
14	クラスの利用、getメソッド																				
15	総合演習3																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>試験・課題</th> <th>小テスト</th> <th>レポート</th> <th>平常点</th> <th>その他()</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>80%</td> <td></td> <td></td> <td>20%</td> <td></td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他()	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) レポートや自習課題は必ず提出すること。																					
【教員紹介】																					
教育機関にて学内ネットワークや成績管理システム等の学内インフラの設計や運用保守等に従事 教員歴30年強. プログラム言語やネットワーク、サーバ系の授業を主に担当																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	JavaScript II		高橋	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
Reactの基本概念（コンポーネント、Props、State、ライフサイクル）を理解し、単純なSPA（Single Page Application）を構築できる。React Hooks（useState、useEffectなど）を活用し、状態管理や副作用処理を実装できる。コンポーネント設計の基本を理解し、再利用性の高いUIを構築できる。																					
【講義概要】																					
Reactのインストールから基本概念を理解しながら、演習中心の授業をおこなっていく。演習課題を実施しながら、スキルの習得を高めていく。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	環境構築、Reactについて、Node.jsのインストール、Reactのインストール																				
2	Node.jsを使ったJavaScriptの実行																				
3	Reactの基礎、変数、条件分岐、配列のループ																				
4	Reactの基礎、関数、コンポーネント、Props																				
5	Reactの基礎、マウスイベント、useState																				
6	イベント処理とリスト表示																				
7	条件分岐とコンポーネント設計																				
8	ミニアプリ制作																				
9	ミニアプリ制作																				
10	useEffect基礎																				
11	API通信①																				
12	API通信②																				
13	ミニアプリ制作																				
14	演習課題																				
15	演習課題																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td>30%</td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%	30%		20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%	30%		20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
15年以上、Webデザイナー・Webプログラマとして幅広いWebシステム開発、Webサイト制作に従事。また、複数の専門学校等でWebデザイン講師に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
プロフェッショナルWEBプログラミングReact																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	実習	データベース演習(SQL) II		龔 恵美子	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
SQL演習を通してデータの演算や変換を理解し、DMLを用いたより複雑なデータ操作を身につけることを目標とする。また、エンティティ・属性・多重度に対する理解を深め、ER図やテーブル設計仕様書が書けるようになる。																					
【講義概要】																					
教科書、プロジェクト、プリントを用いてSQLの基本文法を解説した後、XAMPPを使用した演習環境を用いてSQLの実行確認を行う。正規化したエンティティのサンプルを使用し、ExcelでER図やテーブル設計仕様書を記載する演習も行う。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	演習用データベース環境の構築																				
2	集合演算 (UNION、EXCEPT、INTERSECT)																				
3	CASE演算子 (単純CASE式)																				
4	CASE演算子 (検索CASE式)																				
5	文字列にまつわる関数 (LENGTH、TRIM、REPLACE、SUBSTRING、CONCAT)																				
6	数値と日付にまつわる関数 (ROUND、TRUNC、POWER、CURRENT_TIMESTAMP、CURRENT_DATE、CURRENT_TIME)																				
7	中間試験																				
8	変換にまつわる関数 (CAST、COALESCE)																				
9	行数を限定したデータ取得 (OFFSET-FETCH)																				
10	さまざまな結合 (3テーブル以上の結合、副問い合わせ結果との結合、同じテーブル同士の結合)																				
11	総まとめ、SQL強化演習																				
12	ER図の理解と製図演習																				
13	テーブル設計仕様書の記載演習																				
14	テーブル設計仕様書をもとにDB構築とDB利用																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>70%</td><td></td><td></td><td>30%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	70%			30%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	70%			30%		100%															
(補足) 授業内で実施する演習を平常点として成績評価に加える 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
前職にてシステム開発業務に約20年従事し、DBの構築やSQLを用いたデータ管理業務にも長く携わる。OracleSilverFellow保持。																					
【教科書・参考文献】																					
スッキリわかるSQL入門(株式会社インプレス)																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	講義	CCNA II	未満 直樹	有

【授業の到達目標及びテーマ】

ネットワークエンジニアにとって必須となる基礎知識・技術の修得を目標とする。
ベンダー試験「Cisco Certified Network Associate (CCNA)」の合格も目指す。

【講義概要】

1年次に引き続き Cisco Networking Academy 「CCNA: Introduction to Networks」と「CCNA: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースウェアに従い講義を実施する。
この講義では主として説明を行い、CCNA IIIで演習を進めることで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	アプリケーション層
2	ネットワークセキュリティの基礎
3	小規模ネットワークの構築
4	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
5	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
6	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
7	中間試験
8	デバイスの基本設定
9	スイッチングの概念
10	VLAN
11	VLAN間ルーティング
12	STPの概念
13	EtherChannel
14	DHCPv4
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。

【教科書・参考文献】

コースウェアのオンラインテキスト

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026	2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験
専門 必修	演習	CCNAⅢ	未満 直樹	有

【授業の到達目標及びテーマ】

ネットワークエンジニアにとって必須となる基礎知識・技術の修得を目標とする。
ベンダー試験「Cisco Certified Network Associate (CCNA)」の合格も目指す。

【講義概要】

1年次に引き続き Cisco Networking Academy「CCNA: Introduction to Networks」と「CCNA: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースウェアに従い講義を実施する。
この講義で演習を進めることで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	アプリケーション層
2	ネットワークセキュリティの基礎セキュリティの基礎
3	小規模ネットワークの構築ネットワークの構築
4	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
5	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
6	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
7	最終試験、最終実技試験 (Introduction to Networks)
8	デバイスの基本設定
9	スイッチングの概念
10	VLAN
11	VLAN間ルーティング
12	STPの概念
13	EtherChannel
14	DHCPv4
15	総合演習

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。

【教科書・参考文献】

コースウェアのオンラインテキスト

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門 必修	講義	CCNAIV		未満 直樹	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
ネットワークエンジニアにとって必須となる基礎知識・技術の修得を目標とする。 バンダー試験「Cisco Certified Network Associate (CCNA)」の合格も目指す。																					
【講義概要】																					
Cisco Networking Academy「CCNA: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースウェアに従い講義を実施する。 この講義では主として説明を行い、CCNA Vで演習を進めることで理解を深める。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	スイッチのセキュリティ設定																				
2	スイッチのセキュリティ設定																				
3	WLANの概念																				
4	WLANの設定																				
5	ルーティングの概念																				
6	IPスタティックルーティング																				
7	中間試験																				
8	IPスタティックルーティング																				
9	スタティックルートとデフォルトゲートウェイのトラブルシューティング																				
10	スタティックルートとデフォルトゲートウェイのトラブルシューティング																				
11	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)																				
12	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)																				
13	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)																				
14	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。																					
【教科書・参考文献】																					
コースウェアのオンラインテキスト																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026		2年 後期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
専門 必修	実習	CCNAV	未満 直樹	有	4単位 60時間

【授業の到達目標及びテーマ】

ネットワークエンジニアにとって必須となる基礎知識・技術の修得を目標とする。
ベンダー試験「Cisco Certified Network Associate (CCNA)」の合格も目指す。

【講義概要】

Cisco Networking Academy「CCNA: Switching, Routing, and Wireless Essentials」のコースウェアに従い講義を実施する。
この講義で演習を進めることで理解を深める。

回	授業計画及び学習の内容
1	スイッチのセキュリティ設定
2	スイッチのセキュリティ設定
3	WLANの概念
4	WLANの設定
5	ルーティングの概念
6	IPスタティックルーティング
7	総合演習
8	IPスタティックルーティング
9	スタティックルートとデフォルトゲートウェイのトラブルシューティング
10	スタティックルートとデフォルトゲートウェイのトラブルシューティング
11	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)
12	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)
13	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)
14	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)
15	最終試験、最終実技試験 (Switching, Routing, and Wireless Essentials)

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計
割合	100%					100%

(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

IT企業でソフトウェアの開発業務に従事したのち、教員としてコンテンツ制作、プログラミング、サーバー/ネットワーク等の授業を主に担当。

【教科書・参考文献】

コースウェアのオンラインテキスト

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
専門 必修	実習	Linux I		坂巻 吉則	有	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
Linuxを利用したサーバー構築に必要な知識および操作技術を、仮想化環境を利用した実機演習を通して習得することを目標とする。							
【講義概要】							
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	Linuxの環境構成、Linuxの特徴						
2	ファイル操作の基礎						
3	ファイル操作の基礎						
4	テキスト処理						
5	ユーザーとグループの管理、所有者管理とアクセス権の設定						
6	パッケージ管理、システムアーキテクチャー						
7	中間課題						
8	デバイスとファイルシステム						
9	シェルの機能とシェルスクリプト						
10	ネットワーク管理						
11	システム管理						
12	セキュリティ						
13	最終課題						
14	総合演習1						
15	総合演習2						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	40%		40%	20%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。							
【教員紹介】							
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。 現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。 大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。							
【教科書・参考文献】							
Linuxベーシック（オリジナルテキスト）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	LinuxII		坂巻 吉則	有	4単位 60時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
WebサーバーやDNSサーバーをはじめとする各種Linuxサーバー構築技術の習得、およびサーバー構築時におけるセキュリティ知識を習得することを目標とする。																					
【講義概要】																					
各回ともそのテーマに関する、演習課題（実機コマンド操作）を1～3問程度出題する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linux環境の構築																				
2	システム管理の基礎																				
3	Webサーバーの構築																				
4	Webサーバーの構築																				
5	LAMP環境の構築																				
6	SSHによる暗号化通信																				
7	サービス状況の把握とファイアウォール設定																				
8	DNSサーバーの構築																				
9	DNSサーバーの構築																				
10	メールサーバーの構築																				
11	メールサーバーの構築																				
12	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
13	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
14	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
15	総合演習課題（Webサーバー、DNSサーバー、メールサーバーの構築）																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（出席点）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>40%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td>40%</td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計	割合	40%			20%	40%	100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（出席点）	合計															
割合	40%			20%	40%	100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
IT教育専門会社の代表としてIT教育関連事業に従事する。現在は主に提携する大手メーカー系Sierのサーバー・ネットワーク系講師としての登壇および、カリキュラム開発を担当。大手ITスクールにてインフラ系インストラクターのリーダーとして教育業務経験、独立系Sierにてサーバー・ネットワークシステムの設計構築、および関連するカリキュラム開発業務の経験あり。																					
【教科書・参考文献】																					
LinuxServerセキュリティ（オリジナルテキスト）																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
専門	必修	セキュリティ解析		平塚 悠生	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
簡単なCTF (Capture The Flag) 競技の問題が解けるレベルの基礎知識を身につけることを目的とする。なお、バイナリ解析ではx86_64環境をベースにして説明する。																					
【講義概要】																					
Linuxの基本操作を学びながら、各種ツールを用いて演習を実施する。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	Linuxの基本操作①																				
2	Linuxの基本操作②																				
3	Linuxの基本操作③																				
4	CTFとは、fileコマンド、stringsコマンド																				
5	Forensics① バイナリ																				
6	Forensics② zip、exif																				
7	Crypto① base64、シーザー暗号																				
8	Crypto② ハッシュ、RSA暗号																				
9	Reversing① アセンブリ言語 (代入、加算、減算、関数呼び出し)																				
10	Reversing② アセンブリ言語 (分岐)、バイトオーダ																				
11	Reversing③ 逆アセンブルの実行、スタックとは																				
12	Reversing④ gdbの使い方																				
13	Pwn① パイプの使用、バッファオーバーフロー																				
14	Pwn② 任意の関数の呼び出し																				
15	Pwn③ フォーマット文字列攻撃																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他 ()</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>100%</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計	割合	100%					100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他 ()	合計															
割合	100%					100%															
(補足) 課題の提出状況で成績評価する																					
【教員紹介】																					
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。																					
【教科書・参考文献】																					
-																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎専門 必修	実習	セキュリティⅢ		平塚 悠生	無	4単位 60時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
サイバーセキュリティ全体を理解し、セキュアな情報システムの構築に必要な知識や基礎力を身につける。							
【講義概要】							
CISPの基礎知識体系を基本とし、ビジネスとサイバーセキュリティの両立を前提とした講義を行う。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	セキュリティの基本要素						
2	識別、認証、認可、アカウントティング						
3	攻撃手法						
4	ビジネスとセキュリティ						
5	暗号化技術						
6	鍵、署名、証明書						
7	中間試験						
8	リスク管理、アセスメント						
9	フレームワーク、ガイドライン						
10	クラウド						
11	IoT、AI						
12	脅威インテリジェンス						
13	OSINT						
14	デジタルフォレンジック						
15	期末試験						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	60%			40%		100%	
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること							
【教員紹介】							
前職にてCCNAおよびLPICレベル1取得研修業務に約6年従事。教員に類する職務経験は20年程度。							
【教科書・参考文献】							
オリジナルテキスト							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	基本情報科目A対策Ⅱ		太田 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
基本情報技術者試験科目Aにおいて、合格水準の力を身につけることを目標とする。																					
【講義概要】																					
基本情報技術者試験の科目A及び旧午前試験の過去問題、公開問題、サンプル問題を中心に演習・解説を行う。 基本情報技術者試験科目A免除又は基本情報技術者試験を合格した場合は、本授業は免除とする。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	過去問演習																				
2	過去問演習																				
3	過去問演習																				
4	過去問演習																				
5	過去問演習																				
6	過去問演習																				
7	中間試験																				
8	過去問演習																				
9	過去問演習																				
10	過去問演習																				
11	過去問演習																				
12	過去問演習																				
13	過去問演習																				
14	過去問演習																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td></td><td></td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%			20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%			20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
IPAが公開している過去問題、サンプル問題																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎 必修	講義	基本情報科目B対策Ⅱ		坂井 剛	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

基本情報技術者試験の科目Bへの対策を行う。

【講義概要】

科目B試験のサンプル問題や模擬問題を解かせ、解説を行う。
基本情報技術者試験（または応用情報技術者試験）の合格で本講義は免除となる。

回	授業計画及び学習の内容
1	科目B試験対策①
2	科目B試験対策②
3	科目B試験対策③
4	科目B試験対策④
5	科目B試験対策⑤
6	科目B試験対策⑥
7	中間試験
8	科目B試験対策⑦
9	科目B試験対策⑧
10	科目B試験対策⑨
11	科目B試験対策⑩
12	科目B試験対策⑪
13	科目B試験対策⑫
14	科目B試験対策⑬
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%			30%		100%

(補足) 単位修得のためには指定された課題演習を提出することが必須となる。
授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

大学院卒業後、SEとして8年間開発業務に携わる。2010年より本校の教員として勤務。
基本情報技術者試験、応用情報技術者試験、及び他の高度情報技術者試験を取得。

【教科書・参考文献】

「情報処理教科書 出るところだけ！基本情報技術者 [科目B] 第4版」 (翔泳社)
「令和08年 基本情報技術者 パーフェクトラニング過去問題集」 (技術評論社)

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
基礎専門 必修	講義	応用情報対策		太田 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
情報処理技術の応用的知識・技能を獲得し、応用情報処理技術者試験の合格を目指す。																					
【講義概要】																					
応用情報処理技術者試験の過去問演習を通じて、合格に必要なスキルを身に着ける。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	応用情報対策の講義の説明、過去問演習（午前対策）																				
2	過去問演習（午後対策：情報セキュリティ）																				
3	過去問演習（午前対策）																				
4	過去問演習（午後対策：ネットワーク）																				
5	過去問演習（午後対策：データベース）																				
6	過去問演習（午前対策）																				
7	中間試験																				
8	過去問演習（午前対策）																				
9	過去問演習（午後対策：情報セキュリティ）																				
10	過去問演習（午後対策：プロジェクトマネジメント）																				
11	過去問演習（午前対策）																				
12	過去問演習（午後対策：組込みシステム）																				
13	過去問演習（午後対策：システム監査）																				
14	過去問演習（午前対策）																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>50%</td><td></td><td>30%</td><td>20%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	50%		30%	20%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	50%		30%	20%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること																					
【教員紹介】																					
独立系IT企業にて、アンチウイルス製品のプリセールスおよび製品導入作業、サーバの設計、構築、保守に従事。																					
【教科書・参考文献】																					
特になし																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	基礎数学Ⅲ		氏原 真代	無	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
数学で出てくるベクトルと行列の知識はAIの仕組みを学ぶのに必要であるため、多くの例題や問題を解くことでこれらを学び、活用できることをめざす。 また、今後学習予定の内容の予備知識となる極限值についても問題を通して活用できるようになることをめざす。																					
【講義概要】																					
ベクトルと行列の基礎知識を理解し、その計算方法を学ぶ。また、今後学習する微分や積分を理解するために必要となる極限值の知識も問題を通して、原理と計算方法を学ぶ。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	様々な関数の性質（関数の意味、分数関数、無理関数、対数関数、三角関数）																				
2	様々な関数の性質（逆関数、合成関数）																				
3	極限值（極限値の性質、無限等比数列）																				
4	極限值（無限級数、関数の極限）																				
5	極限值（片側の極限、三角関数の極限・関数の連続性）																				
6	前半まとめ 演習問題																				
7	中間試験																				
8	ベクトルの基本（ベクトルの性質、和、差）																				
9	ベクトルの基本（内積、ベクトル方程式、空間ベクトル）																				
10	行列の基本（行列の性質、和、差、積）																				
11	行列の基本（逆行列、行基本操作、ランクの求め方）																				
12	ベクトルと行列の関係（一次変換）																				
13	ベクトルと行列の関係（固有値、固有ベクトル）																				
14	後半まとめ 演習問題																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table> (補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
【教員紹介】																					
本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当																					
【教科書・参考文献】																					
授業時にプリント配布・抗議の際に紹介																					

東京電子専門学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象		
工業専門課程	高度情報システム科	2026	2年 後期		
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	AI数学 I	氏原 真代	無	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

IT業界ではAIに関する開発が進んでおり、AIには数学の考え方が多く用いられている。AIを使うだけでなく、内部の仕組みを理解するのに必要な数学の知識を身に着けることを目標とする。

【講義概要】

AIの仕組みを理解するのに必要な微分について、様々な関数における計算方法を学ぶ。
また、微分が実際にどのような場面で使用されるかを回帰分析を通して学ぶ。

回	授業計画及び学習の内容
1	微分法（微分の意味、導関数、関数の最大・最小）
2	微分法（積の微分、商の微分、合成関数の微分）
3	微分法（逆関数の微分、三角関数の微分）
4	微分法（対数関数の微分、指数関数の微分）
5	微分法（高次導関数、マクローリン展開、偏微分）
6	微分法のまとめ
7	中間試験
8	散布図と相関係数
9	単回帰分析と最小二乗法
10	Excelを使用した重回帰分析
11	統計学の基礎（散布図と相関係数、正規分布）
12	標準正規分布と中心極限定理
13	仮説検定（母平均と母分散が既知のZ検定）
14	仮説検定（母分散が未知のt検定）
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	60%		30%	10%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

本校診療放射線学科で専任講師として20年以上、数学・物理学・電気実験等を担当し、その後非常勤講師として、独立行政法人教育センターや各種専門学校等で、数学・物理学・電気実験等を担当

【教科書・参考文献】

特になし。授業中に独自に作成したプリントを配布する。

東京電子専門学校

開講課程		開講学科	開講年度		履修対象
工業専門課程		高度情報システム科	2026		2年 前期
講義区分	授業形態	授業科目名	担当教員	実務経験	単位・時間数
一般教育 必修	講義	基礎英語Ⅱ	酒井 智子	有	2単位 30時間

【授業の到達目標及びテーマ】

既習の文法事項の定着をはかりつつ、更に実用的な英語の四技能（読・書・聞・話）の基礎力・応用力を養う。将来の職場において、身近にある既存のツールを用いての必要最低限以上の対応力を養うことを目標とする。

【講義概要】

世界的に有名な企業について取り上げた教材を用い、その社会的な取り組みに関する知識を得ながら語彙を増やし英語力の基礎を築く。またITの専門領域に特化した単語集より各回15程度の英単語を例文を通して覚える。小テストや課題を原則毎回こなし、地道な取り組みによる成果を得ることで、日常の努力が報われる成功体験を得てもらいたい。

回	授業計画及び学習の内容
1	Unit 5 "TOYOTA" (1)、 IT単語・例文プリント-12
2	Unit 5 "TOYOTA" (2)、 IT単語・例文プリント-13
3	Unit 5 "TOYOTA" (3)、 IT単語・例文プリント-14
4	Unit 8 "NIKE" (1)、 IT単語・例文プリント-15
5	Unit 8 "NIKE" (2)、 IT単語・例文プリント-16
6	Unit 8 "NIKE" (3)、 総復習
7	中間試験
8	試験解説、The Steve Jobs Story、 IT単語・例文プリント-17
9	Unit 10 "Apple" (1)、 IT単語・例文プリント-18
10	Unit 10 "Apple" (2)、 IT単語・例文プリント-19
11	Unit 10 "Apple" (3)、 IT単語・例文プリント-20
12	Unit 12 "Rakuten Group" (1)、 IT単語・例文プリント-21
13	Unit 12 "Rakuten Group" (2)、 IT単語・例文プリント-22
14	Unit 12 "Rakuten Group" (3)、 総復習
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	90%	5%	3%	2%		100%

(補足) 原則として欠席回数が1/3を超えた場合は、評価の対象としない。

【教員紹介】

高校教師（4年）、外資系企業の秘書（5年）、医療系大学で薬学部非常勤講師の経験（2年半）あり。
取得資格：英検1級、全国通訳案内士、医療通訳士技能検定2級(日本医療通訳協会)

【教科書・参考文献】

【教科書】 Purpose - Companies for Social Good 「英語で学ぶ社会における企業の存在意義」（金星堂）
【参考文献】 IPA セキュリティ英単語集（情報処理推進機構 website）、The Steve Jobs Story（IBCパブリッシング）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象															
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期															
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数															
一般教育 必修	講義	企業会計 I		木村 和也	有	2単位 30時間															
【授業の到達目標及びテーマ】																					
簿記を通じて、ビジネス会計に必要な知識を習得していきます。仕訳から決算書作成までを学んでいきます。日商簿記3級合格レベルを目指します。																					
【講義概要】																					
人間の社会活動において財務と会計は非常に重要なものです。その財務と会計の基本となる技術が簿記です。そんな簿記の技術を用いて、企業の取引を記録して集計し決算書を作成するまでの流れを学習していきます。																					
回	授業計画及び学習の内容																				
1	簿記とは、オリエンテーション																				
2	1. 簿記の基礎																				
3	2. 現金、当座預金																				
4	2. 当座借越、小口現金																				
5	3. 商品売買																				
6	3. 商品売買②																				
7	中間試験																				
8	3. 商品売買（商品有高帳）																				
9	4. 手形																				
10	5. その他の資産負債																				
11	6. 固定資産																				
12	7. 試算表																				
13	8. 決算手続																				
14	8. 決算手続②																				
15	期末試験																				
【成績評価方法】																					
<table border="1"><thead><tr><th>評価項目</th><th>試験・課題</th><th>小テスト</th><th>レポート</th><th>平常点</th><th>その他（ ）</th><th>合計</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合</td><td>80%</td><td>10%</td><td></td><td>10%</td><td></td><td>100%</td></tr></tbody></table>								評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	割合	80%	10%		10%		100%
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計															
割合	80%	10%		10%		100%															
(補足) 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。																					
【教員紹介】																					
税理士・行政書士・介護福祉士の資格を保有。現在は、税理士事務所を立ち上げて活動中。企業経営実績や介護福祉事業所の運営経験などがあり、これらを活かした「実務に役立つ授業」をしていきたいと思っています。																					
【教科書・参考文献】																					
サクッと受かる日商3級商業簿記テキスト（ネットスクール出版）、レジュメ																					

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 後期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
基礎 必修	講義	情報関連法規 I		佐久間 悠太	有	2単位 30時間	

【授業の到達目標及びテーマ】

- ①現代の市民生活を送るうえで必要な法的知識を修得する。
②情報処理技術者として必要な法的知識を修得する。

【講義概要】

本講義では、身近な法律問題を取り上げて、法律学の基本的な知識を修得します。また、情報処理技術者として必要な法的知識を修得します。単なる知識として理解するだけでなく、具体的な事例をもとに、法的思考を養うことを目標とします。

回	授業計画及び学習の内容
1	イントロダクション（法とはなにか、日本の法律の基本的構成）
2	日本国憲法の基本について理解する①
3	日本国憲法の基本について理解する②
4	日本国憲法の基本について理解する③
5	民法の基本について理解する①
6	民法の基本について理解する②
7	中間試験
8	民法の基本について理解する③
9	刑法の基本について理解する①
10	刑法の基本について理解する②
11	刑法の基本について理解する③
12	情報処理技術者として必要な法律について理解する①
13	情報処理技術者として必要な法律について理解する②
14	情報処理技術者として必要な法律について理解する③
15	期末試験

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合	70%		15%	15%		100%

（補足） 授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること。

【教員紹介】

名古屋市立大学大学院修士課程修了。東北大学大学院博士課程単位取得満期退学。専攻は憲法学。修士課程修了後、中日本高速道路株式会社に勤務し、法務業務（契約書審査や訴訟対応等）や情報システム業務を担当する。現在は行政書士佐久間事務所の代表として、企業の法務業務をサポートしている。

【教科書・参考文献】

米丸恒治編『18歳からはじめる情報法〔第2版〕』（法律文化社、2022年）

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度		履修対象	
工業専門課程		高度情報システム科		2026		2年 前期	
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験	単位・時間数	
一般教育 必修	実習	プレゼンテーション		山際 能理子	有	2単位 30時間	
【授業の到達目標及びテーマ】							
効果的なプレゼンテーションスキルを習得し、社会人基礎力としての発信力・傾聴力を磨き今後の就職活動に活かす							
【講義概要】							
中間テストまでは、プレゼンテーションの基本理論や心理学を学びながら説明や説得力のテクニックを実習します。中間テスト後は、課題に向けてチーム作業を実施し、最終発表します。							
回	授業計画及び学習の内容						
1	【オリエンテーション】	説明力概要 説明と説得					
2	【心理メカニズム】	聞き手の心理を理解する					
3	【非言語情報】	視覚情報と聴覚情報の重要性	空間管理とツールの活用	実習①			
4	【説得力テクニック】	インタビュー	プランニング	ネゴシエーション			
5	【論理構築】	演繹法と帰納法			実習②		
6	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	PREP法	実習③			
7	【プレゼンテーション基礎】	全体構成	SDS法	実習④			
8	【スライドの作り方】	文字	図形	レイアウト	配色	グラフや画像処理	
9	★個人プレゼンテーション 1分間発表						
10	【チーム編成】	ブレインストーミング	チーム名決定	全体構成案			
11	【チーム作業1】	分担作業					
12	【チーム作業2】	分担作業					
13	★チーム総合発表						
14	【総合評価】	各チームの評価・検討					
15	【まとめ】						
【成績評価方法】							
評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計	
割合	70%			30%		100%	
(補足)	・授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること ・中間テストはプレゼンテーションの理論に関する筆記テストがあります。期末テストは、個人発表とチーム発表がテストです。授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること						
【教員紹介】							
東京電子専門学校では、情報処理科 電子技術科、臨床工学科において、プレゼンテーションやビジネスマナー等を担当する。その他、大学での就職講座、企業や官庁においての階層別研修を担当する。							
【教科書・参考文献】							
説明力強化（拙著）							

東京電子専門学校

開講課程		開講学科		開講年度	履修対象
工業専門課程		高度情報システム科		2026	2年 通年
講義区分	授業形態	授業科目名		担当教員	実務経験
一般教育 必修	実習	体育実習Ⅱ		高度情報システム科 担当教員	無

【授業の到達目標及びテーマ】

運動や、課外活動、学園祭を通して、健全な身体と精神を育みます。
 ハイキングは、自然の多い公園などをおおむね 4時間程度歩き、心身のバランスを図ります。
 学園祭は、各種催し物の企画、準備、実施、参加により、協調性を養います。
 心身の健全な育成を目指しています。

【講義概要】

この授業は、春と秋のハイキング、学園祭（準備2日間、学園祭2日間）の参加を以て、評価します。

回	授業計画及び学習の内容
1	春のハイキング
2	
3	
4	学園祭準備（1日目、2日目）
5	
6	
7	学園祭（1日目）
8	
9	
10	学園祭（2日目）、後片付け
11	
12	
13	秋のハイキング
14	
15	

【成績評価方法】

評価項目	試験・課題	小テスト	レポート	平常点	その他（ ）	合計
割合				100%		100%

(補足)

授業時間以外に課す自宅学習や宿題、課題などは必ずやること

【教員紹介】

-

【教科書・参考文献】

-
